

「一体何が起きているのか？ 聖書預言とアップデート」 2020.05.31

<https://www.youtube.com/watch?v=W2y2S10zMKY>

ようこそ。ライブを見ている方々へ。参加して下さり、大変嬉しく思います。アーカイブになったものをご覧になっている方も おられるかと思いますが、聖書預言と照合して、アップデートをしていきます。

念のためですが、今日の第二礼拝は、テサロニケ人への手紙2章の学びを再開します。それは11時15分からライブ配信します。地元の方へ。礼拝自体は、10時45分に始まります。私たちは、今、素晴らしい賛美と礼拝の時間を持ったところです。ご一緒できて嬉しいです。では、私たちの理解に密接な関係のある質問を2つすることから始めたいと思います。

『一体何が起きているのか？』文字通りに。最初の質問は次のとおりです。もしも皆さんが、地球上の全ての人の人生に影響を与えると分かっている、最も重要な情報を内々に知っていたら、どうされますか？ 2番目の質問。せいぜい信じてはもらえないか、ひどければ、あざ笑われると分かっているが、どうやって、その情報を伝えますか？ こういう風に始める理由は、神の御言葉を知っている私たちクリスチャンは、永遠の命のために、全ての人の人生に影響を与えるものを知っているからです。そのため、私たちが聖書の中で命じられているのが… それは指令なんです、御言葉を宣べ伝える事。種が落ちる土壌の質に関係なく、農夫が種を撒いて行くように。「種を蒔く人のたとえ」と呼ばれて親しまれる たとえ話をご存知の皆さんは、種が落ちる土壌には、4つの種類があることを知っていますね。そして、その反応の責任は我々にはありません。どの土に種が落ちるかは、私たちの責任ではありません。私たちは単に種を蒔き、福音を広めるように命じられています。救いの良い知らせ、つまり、イエス・キリストにある永遠の命の福音を。それが人類への答えです。それが、永遠の命への答えであり、この世のすべての人に影響します。私は、言ってみれば、ハードルを上げて、先の2つの質問に関連して、もう1つ質問したいのです。皆さん、私と一緒に考えてください。自分が持っている情報が差し迫った緊急性のあるものだったとしたら？ 皆さん、どうしますか？ そうなら、皆さんは何が何でも、出来るだけ早く知っている人全員に知らせますか？ 私が何を言おうとしているのかきっと皆さんもお分かりでしょう。早速言わせていただきますが、これがまさに私たちが置かれている世界の状況です。この3ヶ月間、私は差し迫った緊急性を持って、私の特権としてこの説教壇の後ろに立ち、実際に何が起ころうとしている可能性があるのか警鐘を鳴らしてきました。確かに、それは、悪いニュースであるだけでなく、ほぼ間違いなく、恐ろしいニュースでもあります。だからこそ私たちは、このアップデートを良いニュースで締めくくります。イエス・キリストにおける救いの福音で。そして、今日もそのようにします。そのために、私は祈りに時間を費やし、断食さえもしていました。主が私に語らせようとしているのは、世界で何が起きているのか、また、世界に何が起ころうとしているのか、その両方であると感じています。アメリカ全土に広がる暴力的な暴動から始めます。それは、ジョージ・フロイドの悲惨な殺害に対する抗議として始まりました。しかしながら、これはもはやジョージ・フロイド殺害が問題ではありません。ジョージ・ソロスの資金の問題です。その理由を説明します。私は正直に言うと、ジョージ・ソロスから資金を得た無政府主義者たちが、アメリカの都市を灰燼に帰すのを見ていて、疑問に思っています。すなわち、「なぜなのか？」という事。そしてたぶんもっと重要なのが、「なぜ今なのか？」さらに重要なのは、「なぜ神は、このような事が今、起こるのを許しておられるのか？」皆さん、これは霊的な戦いであることを理解

しなければなりません。「私たちの格闘は 血肉にたいするものではなく、…」民主党 対 共和党、右派 対 左派、黒人 対 白人... しかし、

**「支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、 また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。」**  
**(エペソ 6:12)**

実際、使徒パウロはエペソ 6 章で、 4 つの異なる序列の霊的な実体を説明しています。霊的な領域において 私たちが戦い、争い、格闘するものです。肉と血ではありません。人々ではありません。そして、とても重要なことなので、 これを見逃さないでください。見逃してしまうと、皆さんは、 敵の嘘の餌食になってしまいます。敵は神が許さなければ何もできないのです。ヨブに聞いて下さい。実際は、天国に着いたら、私たちは 誰にも何も質問しないでしょ。最初の1兆年間、私たちはこんな風になっています。「ふさわしい子羊... ふさわしい子羊...」ここがポイントです。イエスがペテロに仰った時のあの一件があるので、 ペテロに聞いてみるのもいいでしょう。「ところで、ペテロよ。サタンはあなたを 麦のようにふるいにかける許可を求めたのだ。」書かれていない事ですが、 ペテロが何を考えていたか、想像がつかます。「彼 (サタン) に何と言ったのですか？」イエスは言います。「わたしは『よし』と言った。しかし...」でもここがポイントです。「もし」ではなく「その時」、すなわち、 彼があなたをふるいかけ終わった時... そして、これが、わたしがサタンに そうする許可を与えた理由なのだよ。それが最終的に、あなたの益となり、 わたしの栄光となるからです。要するに、神は、敵が 私たちの頭の髪の毛の一本さえも 触れることを決して許されません。私の場合には、 敵に許可を与え過ぎたんじゃないかなと思います。それが最終的に私たちの益となり、 その益のために働き、また、神の栄光のためにならない限りは、 お許しになりません。「なぜ？」と理由を問うこれらの質問... 「主よ。なぜこれらの事が起こることを 許しておられるのですか？」ありがたいことに、その答えは、聖書預言さえ見れば分かるのです。その答えは、今、すべての屋根の上から叫ばれる (大々的に伝えられる) 必要があるのです。文字通りにではありません。捕まりますので、やらないでください。比喩表現ですから。それは明快な声で叫ばねばなりません。警鐘が鳴らされる必要があります。その警告は黙示録 22 章にあります。聖書の中の最後の書の最終章です。その第 7 節。イエスが語っておられることに、 耳を傾けて下さい。

**「見よ、わたしはすぐに来る。...この書の預言のことばを守る者は 幸いである。」** (黙示録 22:7)

なお、私が、新約聖書の原語ギリシャ語の「すぐに」という語に、皆さんの注意を引く事に、 うんざりされなければいいのですが、それはギリシャ語のタコス。ポケ料理のタコではなく、タコスです。タコスというのは、英語の”タコメーター”の由来です。これは測定基準で、 毎分の回転数 (rpm) です。設定時間は、1分。1分間の回転数の測定値です。皆さん、イエスがここで 何を言っているご存知ですよね? 「見よ、私は、 物事の起こるスピードが上がる時に来るのだ。」 「そして、この書 (聖書) の預言の言葉を守る者には、祝福が約束されている」のです。聖書預言はすぐに実現しようとしています。それはまた、イエスがご自分の教会を迎えに来るのが まもなくだという意味です。それが、すべての屋根の上から、 叫ばねばならない事です。今! 聖書の中で、終わりの時に起こるであろうと 書かれている事は、すべて、 今、起こっているのです。特に、しかも悲しいことに、この最愛の国、アメリカ合衆国に関係する事です。アメリカが今までにないほど分裂しているのには、 皆さん同意されると思います。私が個人的に確信しているのは、アメリカ合衆国は、聖書預言の中にはないけれど、

今まさに聖書預言を成就しているという事です。私の考え方を説明します。2月2日に戻りますが、発表されて間もなかった「世紀の取引/ディール・オブ・ザ・センチュリー」についての預言アップデートをしました。その計画は、読んでみると、エルサレムを分割するものでした。それと言うのも、21条の「主張の終わり、紛争の終わり」のためです。その意味は、エルサレムに対するすべての主張を終わらせれば、イスラエルとパレスチナの紛争が終わる。それが問題です。それは交渉を決裂させるものです。なぜなら、エルサレムは、すべての都市の中から、エルサレムは、イスラエルの全部族の中から、神が文字通りに所有者としてご自分の名を置くために選ばれた街なのです。そして、それはユダヤ人に属しています。それをアラブ人が言ってるんですよ。いかがでしょう？ さて、問題があります。私が言おうとしているのはこれです。ゼカリヤ書12章1—3節の預言によると、「エルサレムを分断しようとする者は誰でも分断されるだろう。」言わせてもらえば、本当に露骨です。神は言われます。

**「見よ、わたしはエルサレムを、その周りのあらゆる民をよろめかせる杯とする。」（ゼカリヤ12:2）**

全世界が何によろめき、執着するのか？ ああ、エルサレムを分断する事。そして神の警告は、「それを分断しようとする者は、わたしがその者を分断する。」あなたがエルサレムを分断するなら、わたしがあなたを分断する。その時のアップデートの覚書に戻り、次の問いにどう答えたかを再確認してみました。この計画は、ゼカリヤの預言を成就しているのか？ 私はおおむね、このように答えました。

まだ何も確認されていませんが、しかし、その計画書を読む限りでは、実際にエルサレムを分断するものであるように見えます。それから、私はこうコメントしました。それは反論する人たちに対するもので、そういう人たちは大勢いました。私はこう言いました。「時間が経てばわかる。これが本当にその計画案の意図であるならば、間もなく私たちは、アメリカが分断されるのを目の当たりにするでしょう。」と。私は預言者でも、預言者の息子でもありません。しかし、それは預言が語っている事です。悲しいことに、分断されたのはアメリカだけではありません。アメリカの教会も分断されています。そのことについて、この後で、もう少しお話ししたいと思います。真実のところは、ゼカリヤの預言は今日作用している多くの事の一つに過ぎません。すべての事がまとまりつつある、という事です。預言のパズル・ピースを適所にはめ始めたら、ほどなく、それがほぼ完成している事に気づきます。「自粛/Stay Home」期間の初めごろ、私はパズルを買いました。720ピース、もう二度とやりません。私が買うべきパズルは8ピースか9ピースくらいのものでしょうか。でも、これは700ピース以上あって、こんなに小さいのです。パズルの図柄は、なんと、犬で、気を悪くさせたらすみませんが、犬がトイレに座って新聞を読んでいるんです。そういう図柄のパズルでした。それを買ったのは、そのパズルの犬がうちの犬に似ていたからです。そこで、こう考えました。みんな自宅に、ずっと一緒にいることになるし、時間もたっぷりある。それは本当にたっぷり時間がかかりました。実際、そのパズルを完成するのに1ヶ月ほどかかったと思います。ところがですね、ピースが2つほど床に落ちて、うちの犬が嘔んでしまったんです。だから実際には、、、その写真を撮ったんですけど、うちの犬が食べたピースが2つ欠けています。それっていうのは、、、とにかく、私の話はもういいですね。これでも、要点があるんですよ。「早くその要点を言ってくれ」と思ってる方もいるでしょう。ご心配なく。そのパズルは長い時間がかかりましたが、終わり頃になると、見えてくるのです。ジグソーパズルをなさる

方をご存知でしょうが、かなり気分が浮き立ってきます。ピースを組み合わせて、絵が出来てくのが見え始め、終わりに近づいてくると、もう止められません。最後のピースを所定の場所にはめて、パズルを完成させたいから。さて、聖書預言という意味では、私たちは2006年以来、毎週、このパズル、預言パズルをやってきました。私たちは今、2020年において、私は皆さんに伝えたい事があります。預言というパズルに最後のピースがはめられるのは時間の問題だと。人類のための神の預言的な計画に従って、すべての事が完璧に進んでいると私は提案します。お許し頂けるなら、聖書預言の年表がどのようなものか、もっと適格な、或いはもっと大きな絵を提供するため、預言というキャンバスに太い筆で描きたいと思っています。どういう意味かと言うと、全般的な聖書的年表のことで、神の御言葉で予告された預言が、この悪しき世界で展開していくであろう順序を示すものです。そのためには、私たちは、これらの聖書預言を「切迫性の教義」と呼ばれるレンズを通して見る必要があります。「切迫性の教義」とは何でしょうか。教会携挙はいつでも起こり得るという健全な聖書の教義です。言い換えれば、携挙が起こる前には、何も起こる必要がないのです。今、皆さんお気づきでしょう。オンラインで見ている人のために画面に出しておいてください。参照聖句が無数にあります。来週、テストを受けてもらいますから、スクリーンショットを撮っておいた方がいかもしれません。

1 コリント 1:7; ピリピ 3:20; 4:5; 1 テサロニケ 1:10; テトス 2:13; ヘブル 9:28; ヤコブ 5:7-9; 1 ペテロ 1:13; 黙示録 3:11; 22:7,12,17,20

教会の携挙においてイエス・キリストがいつでも戻って来られ得るというこの健全な教義の重要性を誇張する事が可能なものか、私には分かりません。携挙が何かをご存知ない方、大丈夫です。

第一テサロニケ 4:17、そして第一コリント人 15:51-52 にあります。使徒パウロは、テサロニケ教会宛の手紙の中で、英語の「Caught up/引き上げる」という言葉を使っています。それはギリシャ語でハルパゾ。ラテン語でラプトロス。「ラプチャー（携挙）」と音訳されています。それは突然、「一瞬のうちに、」とパウロはコリントの人たちに言っています。空中で主と会うために、引き上げられるのです。

**「そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、（肉体の復活）それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ（携挙され）、空中で主と会うのです。」（第一テサロニケ 4:16-17）**

それが携挙です。それが非常に重要である理由は次の通りです。携挙がいつでも起こりうる事と、携挙が7年の患難前に起こらねばならない事を知っている事は、クリスチャンを落ち着けます。なぜなら、それは、クリスチャンには何も恐れることがないと言う意味だからです。特定の預言が究極的かつ最終的に成就する時、私たちはここには居ないことを知っているからです。すなわち、よく知られていて、最近よく話題になっている預言です。黙示録13章に出てきます。獣のしるしと、666という数字を予告しています。これについても、この後すぐにもう少し詳しくお話ししたいと思います。この預言が他の預言とともに示しているのは、7年の患難時代には、それが実現するための技術が存在する事です。誰もが右手または額に、何らかの刻印を受けることを余儀なくされます。その刻印がなければ、基本的な商品やサービスを売買する事ができません。その技術が存在する必要がある、以前のアップデートで話したように、その技術は今日存在するだけでなく、時計を今日から5年先、さらには10年先に早送りすれば、技術は急速に進歩していますから、今日、聖書に記されている技術を超越することになるでしょう。また、それは世界統一経済、世界統一政府の存在を示唆し、私も含め多くの人が、

これが新世界秩序 (NWO)になると信じています。私は今からある発言をしますが、皆さんに知っていただきたいのは、私がこれを考え抜いたこと、祈り抜いたこと、そして理由があって特に次のように述べることです。私は、私たちが今見ているのは、操作的な解体であると信じています。理由があって、その言葉を使用しています。それは現在の世界秩序の解体で、新世界秩序を導入するためのものです。混沌から秩序をもたらそうとする 悪魔の計画です。神の預言的計画に完璧に従っています。なぜなら、覚えていますか？ 神がお許しにならない限り、悪魔は何もできないからです。神は、それが究極的に 人類のための神の計画に預言的に適合し、最終的に神に栄光をもたらす場合にのみ、お許しになられます。それが私たちが見ているものです。これは、新世界秩序を導入するための、現在の世界秩序の操作的解体です。先週、多くのオンラインメンバーが ここに出ているものを送ってくださいました。これは、最近立ち上げられたサイト、 URL : unnwo.org のスクリーンショットです。UNNWO は国連新世界秩序の略です。

興味深いことに、ホームページには「我々の地球を取り戻そう」と表示されています。面白いですね。以下は、この "About / 私たちについて" の ページからの引用です。

「国連新世界秩序プロジェクトは、世界的なハイレベルの取り組みで、2008年に設立され、...新しい経済的枠組み、新政治秩序、またより広範的には新世界秩序を人類のために 推進するためのものです。...2030年までに、持続可能な発展のための 国連の世界目標を達成します。」

こういう風に言うのを お許しいただきたいのですが、「悪魔は細部に宿る」と聞いた事があるでしょう。さて、この場合もそうです。「新しい経済的枠組み、新政治秩序、より広範には新世界秩序、特に、持続可能な発展のため国連の世界目標に関して」というのがどういう意味かをもう少し掘り下げると、

それは表面上は友好的に聞こえますが、「いいね！持続可能な発展。」お気づきでしょうか。それは、聖書の中で、7年間の患難時代に起こると言われている事を ほぼ一字一句表しています。次は、別のウェブサイトの スクリーンショットです。covipass.com.これは何ですか。これは、安全なデジタル・ヘルス・パスポートです。"COVI-PASS の仕組み"について、彼らが言っているのを引用します。「認定された COVID-19 試験結果を ユーザーの健康と免疫反応にリンクして表示します。安全なバイオメトリクス認証ゲートウェイを使用して、（お聞きください。） 個人が安全に仕事と生活に戻れるようにします。」

「COVI-PASS は、携帯電話から生体認証でアクセスしたり、キーフォブや RFID (IC タグ) に保持でき、安全な作業環境を確保するために、政府の医療サービスや企業向けに 独自の認証ゲートウェイを提供します。」素敵な午後を過ごしてください。本当に私の注意を引いたのは、こちらのスクリーンショットです。この中で彼らが COVI-PASS について 次のように述べています。引用します。

「世界で最も安全なデジタル・ヘルス・パスポートは、特許取得済みの技術に基づいて構築されています...」私たちは、これらの特許と、それらが誰の所有であるかを話してきました。「...欧州委員会から”最優秀賞”を授与され、様々な国連プロジェクトで使用されています。」ふんん～ あえて言えば、国連のプロジェクトというのは、国連新世界秩序であり、まさに黙示録の預言通りです。これで、目前に迫っている携挙という レンズを通して見た、前述の預言的な年表に 話が戻ります。実際、携挙は預言の暦の上で、次に起こる出来事です。そしてそれが、聖書において、その後続く預言を 引き起こすこととなります。次は何が起こるか..... できるだけ急ぎ足で進めようと思います。とても大まかな

ものです。これは、聖句を伴う大まかな年表であり、ご自分で調べることをお勧めします。ベレヤ人のようになって、神の御言葉を正しく理解しましょう。聖句の中には、これから起こる事について非常に詳細で具体的に述べているものもあります。最初のものから始めましょう。

携挙：まず最初に携挙が起こります。それから、反キリストの出現。これは、第二テサロニケ2章3節です。これについて私たちは話しましたが、また来週、主の御心ならば、詳しくお話します。今日は、第二テサロニケの1章を終える予定なので、皆さん1章の次が何か知っていますか？ 意義深いですよ。2章です。使徒パウロが言うには、「出発」、つまり、ほとんどの人に信じられている霊的な背教ではなく、肉体的な出発、「出発」、肉体的な出発が先に来なければならないのです。そして、反キリストが明らかになる。ところで、繰り返しますが、だからこそ、切迫性の教義の重要性を誇張し過ぎることはできないのです。なぜなら、それが背教を指しているなら、大いなる背教が先に起こらねばならないからです。となると、携挙の前に何かが起こらねばならなくなります。そして、切迫性の教義が壊されます。背教が先に起こらねばならないからです。背教が先に起こらねばならない。携挙は、背教まで起こりえない。ちょっと待ってください。私たちはそれをどうやって計るのでしょうか？ そのためのリトマス試験は何ですか？ 最後の一人が背教・墮落したら。そうしたら、携挙が起こりえる？ それは問題だらけです。繰り返しますが、その事については、もっと深く掘り下げていきますが、神の預言上の時計の次の出来事は、教会の携挙です。ところで、非常に重要なことを明確にさせてください。携挙は、患難の開始になりません。何が患難を開始するのか、この後すぐに分かります。携挙が最初に起こります。

反キリストは、教会が取り除かれるまで出現することはできません。だから、私たちは反キリストを待ち望んではいません。私たちが待ち望んでいるのは、イエス・キリストです。2番目、反キリストは、イスラエルとの7年間の和平合意を確認し、それが7年間の患難時代の始まりとなります。これはダニエル9章27節にあり、非常に詳細で具体的な預言です。この後またすぐ出てきますが、その要点はここにあります。ダニエルは、この和平合意の確認があると預言しています... 原語のヘブライ語では興味深い言葉で、私の母国語のアラビア語と同じ言葉で、それはヘブライ語とアラビア語の単語、“ヒグビール”、つまり、より大きくする、より優れたものにする、より壮大にする という意味です。反キリストは、この契約をヒグビール=壮大にするのです。7年間。そして、それが7年間の患難の始まりなのです。ところで先週、患難前の携挙に関して詳細に話しましたが、7年間の患難は、ユダヤ人国家の救いのためです。最後に確認したところでは... 私はそんなに控えめに賢ぶって、厭味ったらしくなるつもりはないのですが、（いや、あるかもしれませんが）そんなつもりはないのですが、最後に私の聖書を確認したら、人類の歴史の最後の7年間は、「ヤコブの苦難の時」と呼ばれています。ヤコブって誰？ イスラエルです。私が最後に聖書を確認したところでは、それはダニエルの第70週目です。そして、それは教会とは何の関係もありません。教会は取り除かれ、そして神は、焦点をすべてユダヤ人に移されます。そしてユダヤ人国家の救いに。

3番目、第三神殿は、7年の患難の初めに、おそらく早い時期に建てられるでしょう。なぜ私たちがそう信じるかというと、やはり、ダニエル9:27が、3年半の節目に記述している事のためです。第二テサロニケ2:4は、第二テサロニケ2:3の後に続きますが、実に意義深いですよ。主の御心ならば、私たちは来週見ていきますが、使徒パウロは言います。反キリストは神殿に入り、自分が神として礼拝されることを要求します。ダニエルは、それが中間点の3年半の時点に起こると言っています。そし

て、反キリストは、荒らす忌むべきことを行います。それが4番目で、だからこそ神殿再建が必要なのです。ところで、これもずっと前の事ですが、イスラエルはゴーサインさえ出れば、90日足らずで神殿を建設することが出来ます。それをじっくり考えてください。ゴーサインを待っているだけです。さらに一步進めますと、これは推測的なものですが、これを総合的に見てみると真価はあります。私としては、この7年間の和平合意には、神殿再建も含まれていると信じています。私の考えでは、それがユダヤ人がエルサレムを手放す理由だからです。なぜなら、彼らは神殿を持つためになら何でもするからです。

だから私は、それが7年間の患難に含まれると思っています。では、患難時代に入ってから話です。あんまり特定のなものではありませんが、可能性が高いのは、中間点で、反キリストが神として崇拝されるのを要求する時に、彼（反キリスト）は、人々が、神としての自分に忠誠を誓うことを強要し、売買するためのこの印を受けさせるでしょう。それが、獣の印で、666という数字が伴います。これは中間点です。この後、ユダヤ人は逃げ出します。これは黙示録12:6とマタイ24:16-20です。ユダヤ人は、7年間の患難時代の中間点で、彼らはこの荒らす忌むべきものを見たとき、ユダヤ人は、「これは我々のメシアではない」と気づくのです。彼らは、黙示録によると、エルサレムから逃げ出し、神が用意された場所へ行きます。私を含め、多くの人が、それは現ヨルダンの古代都市ペトラだと信じています。そして、後半の3年半の間、神はご自分の民、ユダヤ人を守られます。

では最後の一つ。これにはまた多くの憶測があり、やはり特定性はありませんが、マゴグの戦い（エゼキエル38章）とハルマゲドンの戦い。2つの異なる戦いです。ヨハネの黙示録16章16節（ハルマゲドンの闘い）。それらは、7年の患難時代を挟むブックエンドのようなものです。ゴグとマゴグの戦いは、最初にあるブックエンドで、ハルマゲドンの戦いは、実際には戦いと言うほどのものでもありませんが、それは7年間の患難の終わりです。再度言いますが、あまり具体的ではありませんが、これはこれから起こる預言を非常に全般的に大まかに説明したものです。しかし、私がこのように提示するには理由があります。皆さん恐らく、私が何故これらの話をしているのか、疑問に思われているでしょう。なぜこれらの事に触れているかと言うと... 私たちには話す必要があるからです。話す必要があります。誰も話しながら重要な問題（部屋にいる象）について、話す必要があるのです。

「あら、象がいる（問題がある）んですか？」 「はい。」私のことではありませんよ。私は象ではありません。慣用表現を使うと、部屋に象がいます。（見て見ぬふりをされる問題のこと）その象とは何のことですか。多くのクリスチャンが、患難時代の預言的な出来事について混乱しています。そのため、来るべきCOVID-19ワクチンを巡っても意見が分かれています。私たちは既に患難時代に入っているのだと言う人たちさえいます。私たちは患難時代には入っていません！ 私は、神の御言葉の権威の下に、それを保証することが出来ます。では、このワクチンの問題について話しましょう。はっきりさせたいので、どうか最後まで聞いてください。現存のワクチンは、獣のしるしには、なり得ません。なぜでしょうか。なぜなら、私たちは7年間の患難に入っていないからです。クリスチャンがインフルエンザの予防接種を受け、誤って獣のしるしを受けることはありません。本当です！ 皆さんは、それを心配しないでいいんです。しかし、現実として、将来のCOVID-19ワクチンには、実際に獣のしるしに繋がりが、また、そのしるしになる可能性があります。まだ未来のことです。金曜日にCBNニュースは、次の報道をしました。COVID-19ワクチンの薬剤充填済み注射器にRFIDチップが入る可能性がある、と。これにより、誰が自発的に接種を受けるか、受けないかという点で、さらに

分裂が進んでいます。個人的には、私は色々な理由から COVID-19 ワクチンを受ける気は全くありません。その中でも大きな理由は、その中身のためです。はっきり言うと、中絶された赤ちゃんの組織です。その理由だけでも十分です。そして他の理由もあります。先ほど述べたように、こんにちの教会は、この危機をめぐって非常に分かれています。また、新しい通常に戻る前に、ワクチンの全員接種に向かって、私が「競走で追跡」と呼ぶものを巡って。ちなみに、そういう計画なんですよ。これだけでも十分悪いんですが、、、お聞きください。「ダメ」とは言わないでしょう？ ...私は先日、このことを考えていました。私は先週コメントをしましたね。オンラインで見ているかもしれない牧師たちへの 本当に愛に満ちた挑戦です。

私が基本的に言った事は、「これからどうするのですか？」「あなたはクリスチャンっぽい人用の説教っぽい事を続けるのですか？」と。いやあ、面白い... しかし私が心で考えていたのは、牧師が、なぜクリスチャンっぽい人用に説教っぽい事をするのか？ クリスチャンっぽい人々の教会だから？じゃあ、なぜ彼らの教会はクリスチャンっぽい人ばかりなのか？説教っぽいものしか、ないからでは？言い直しましょう。つまり、クリスチャンっぽくなるのは、説教っぽい物しか聞いてないからか？それとも、説教っぽいものになってしまうのは、クリスチャンっぽい人ばかりだからか？ 私は言わせてもらいます。主が私の心をご存知です。人々が“クリスチャンっぽい”理由は、牧師の“説教っぽいもの”のせいです。ですからヤコブがこう言うのです。非常に注意なさい。ああ、あなたは神の御言葉の教師になりたいのですか？それは高貴なことです。しかし、知っておきなさい。その代償を考慮した方がいい。そのために、格別厳しいさばきを受ける事を知っておきなさい。それを非常に真剣に受け止めて下さい。私は自分がそうしていると思いたいのです。ある人が、とてもユーモラスに表現していました。ここでそろそろ、ちょっとユーモアを交えないと... 私たちが天国で列に並んでいるとき、これが聖書に書かれてないのは分かっていますが、門から入るのに、私は皆さんの列とは異なる列に並びます。時間がちょっと長めにかかるからです。私は皆さんよりも少し厳しく裁かれるから。だから皆さん、列で私を見たら、「あの人は見たことがない。」と言わないでください。...いえ、ただ手を振って、「大丈夫！」と言ってください。「あなたは入れます。よくやりましたね。」と。OK。。。とにかく。。。話を戻します。

でも本当に悲しい事です。真剣に、胸が痛むことです。クリスチャンはとても分裂しています。もし私が皆さんに、実際に、教会が再開すべきかどうかに関して、クリスチャンが分裂していると言ったら、皆さん信じますか？ ああ、皆さんに私のメールを読んでもらえたら... やっぱり、撤回します。私は自分がそれらのメールや手紙の一部を 読まずに済めばいいのにとおもいます。本当です。驚くべきことに、

教会を再開することで人々を危険にさらしたと言って、教会や牧師を批判し、問い詰め、バカにし、あざ笑う人々があります。そんなメールが来るたびに... ちなみに何通か受けましたが、私はただ御座に行きます。私はいつも手紙を受け取ります。因みに、匿名の手紙が来たら、最近も来ましたが、私は、匿名の手紙用に、非常に複雑なファイリングシステムを作っていて、それはシュレッターと呼ばれています。

そこに入れます。名前を名乗るつもりがないなら、私はそれを読むつもりはありません。そんな手紙やメールが来るたびに、私はすぐに御座に向かいます。「主よ、見ましたか？??? 見ました？見ました？???」すると、主はいつも誠実にして下さる通り、私の心を落ち着かせ、御言葉に固く立た



させていただきます。先週、主は、ヒゼキヤ王と、第二歴代誌を思い出させて下さいました。3年前、2017年3月に学びましたね。その話の背景を手短かに説明します。第二歴代誌28章24節に始まり、ヒゼキヤの父は邪悪な王で、主の前に悪を行いました。

**「アハズは、神殿の祭具を集めて粉々に砕き、主の神殿の扉を閉じる一方、エルサレムのあらゆる街角に祭壇を築いた。」**（第二歴代誌 28：24）新共同訳

言い換えれば、主の神殿の扉、主を礼拝するための神殿の扉が閉じられました。ロックダウンです。そして彼は死に、第二歴代誌29章1-3節で、彼の息子ヒゼキヤが王（良い王）となりました。次のように言われた王たち、たった8人のうちの1人です。実際には9人だと思えますが。

**彼らは「主の目にかなうことを行った。」**（第二歴代誌 29:2）

他のすべての王は主の前に悪を行いました。ヒゼキヤは9人の王のうちの1人でした。彼は王となり、**「彼はその治世の第一年の第一の月に、主の宮の戸を開いてこれらを修理した。」**（第二歴代誌 29：3）

その後、30章6節で、彼はEメールを送ったとあります。いや当時Eメールはなかったので、皆に手紙を送りました。彼は、急使たちに書簡を託します。（神殿を）また開くぞ。急使たちは書簡を持って、イスラエルとユダ全土を巡ります。

**「王の命令のとおりに告げた。『イスラエルの子らよ。アブラハム、イサク、イスラエルの神、主に立ち返りなさい。』」**（第二歴代誌 30:6a）

興味深いことに、ヤコブではなくイスラエル。それを指摘しておこうと思いました。

**「そうすれば、主は、アッシリアの王たちの手を逃れて残ったあなたがたのところに、帰って来てくださいます。」**（第二歴代誌 30:6b）

では、何が起こるのでしょうか。その発表がされた時の人々の反応は？ 教会が再開されるという手紙に！ 皆さん、人々が行列を作って 戻って来るのを待っていると思うでしょう？ 現実は違いました。第二歴代誌30章10-11節は、

**「こうして急使たちは、エフライムとマナセからゼブルンの地に至るまで、町から町へと行き巡ったが、人々は彼らを笑いものにして嘲った。」**（第二歴代誌 30：10）

「教会は開かれます。神殿は...礼拝再開します～。戻りなさい。戻って来なさい。」すると彼らは笑いました。そしてそれにも関わらず、幾人か、、、その数は書かれていませんが、

**「ただアシュル、マナセ、およびゼブルンの ”一部の人々” は、（興味深いのが） ”へりくだって” エルサレムに上って来た。」**（第二歴代誌 30：11）

なぜ私がこの話をするのか。なぜなら、私を批判してもいいし、笑ってもいいし、あざ笑ってもいいです。こんな風に言われています。聖職につきたいなら、子供の心、学者の思考、サイの皮膚を持った方がいい、と。皮膚が厚く（図太く）ないと、感じやすい人は、聖職につくことはできません。いつも批判の対象になります。私の好きなロバと父子の話をしてもいいですか？ 前に話して2、3ヶ月経ちますから、いいですよ？ とにかく話します。父親と息子は、生活物資を手に入れるためロバを連れて町へと出かけた。息子がロバに乗り、父親はその傍らを歩き、彼らは町に入っていきます。町の人々はこう言います。「見てみろ、あの若者は恥を知れ。自分がロバに乗って、年老いた父には歩かせているぞ！」「恥を知れ！」お父さんは、言います。「良いか、息子よ。」「次に町に来る時は、私がロバに乗り、お前は歩いたらいいさ。」と。そして次回、物資を得に町に入ります。すると

また批判されます。

「見てみろよ。息子をこき使うあの父親。自分がロバに乗って、息子を歩かせるなんて！」父親は、「分かったよ。分かった。」「じゃあ、二人ともロバに乗ればいいんだ。」そして彼ら二人ともロバに乗って、町に入って行きます。案の定、こうなります。「可哀そうなロバ... あの親子、ロバの背骨を折るつもりか！！」で父親は、「もういい！！二人とも、ロバに乗らなければいいんだろ！！」次は、二人ともロバに乗らず、ロバを連れて町に入ります。さあ、来ました。「見てみろよ。あのバカな親子。ロバがいるのに、ロバに乗らないなんて！」この話の道徳は？ 何をやっても批判されるのです。それに対して、私はこう言います。「かかって来い！」私は聖化された意味で言っています。主が私の心をご存知ですから。私と私の教会は？ 勝負開始です。私たちは本気でやっています。この教会は再開しました。問題なければ良いですが。皆さんここに来られてますから、問題ないと思ってます。私たちが知っている人類史のこの最後の時刻に、私は新たな切迫感を感じています。なぜなら、携拳はいつでも起こりうると心の底から信じているからです。（拍手喝采～）私は血圧に気をつけないといけません。いやあ、言っておきますよ。私は38年以上、主と共に歩んできました。80年代から聖書預言を教えてきました。計算しないでください。5歳で始めたんですから。これまでの人生で、教会の携拳が今ほど近いと心に感じた事はありませんでした。これが私たちが14年間、預言アップデートをやってきた理由です。これが私たちが、イエス・キリストの救いの良い知らせで締めくくる理由です。それと、“救いのABC”という、救いの簡単な子供にもわかる説明を以て。もう少し時間をください。福音とは何でしょうか？ 福音とは、良い知らせ。イエスが来られ、十字架につけられ、彼はあなたと私のために死んだのです。彼は葬られ、3日目によみがえられました。そして彼はいつか戻って来られます。もうまもなく、非常にまもなく。それが良いニュースです。それが福音という言葉の意味です。

「良い知らせだ！あなたの負債は支払われた！あなたは自由に行っていていい！！」御子（イエス）が解放する者は、本当に自由なのです。（ヨハネ 8:36）

救いのABCとは何でしょうか？ ABCは、子供にも分かる説明です。誰の知性も侮辱するつもりはありません。しかしイエスは仰いました。

**「子供のように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできません。」（ルカ 18:17）**

彼が仰っているのは、子供じみたという意味ではなく、子供のように、です。子供たちがいかに信頼するか、ご存知でしょうか？ 彼らはとても信頼します。彼らは、子供のような信頼があります。実際に、見知らぬ人は危険だと注意しなければならないほどです。なぜなら、彼らはとても信頼するからです。

それがイエスが仰っている、“子供のような信頼”です。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。自分の罪に対して、救い主/救世主が必要であると認めるのです。私たちは皆生まれながらの罪びとなので、新しく生まれなければならないのです。

**「正しい者はいない。一人もいない。」（ローマ 3:10）**

言い換えれば、誰も十分ではないのです。そして、ローマ 3:23 が その理由を教えてください。

**「人は皆（私たちの誰しもが）、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」（ローマ 3:**

## 23)

私たちは皆、神の律法を破りました。それが悪いニュースです。私たちはその律法を破ってしまったので、神の完全な義の基準である律法を破ると、罰則があります。そして、それはローマ 6:23 です。そのペナルティは何でしょう？ 死刑宣告なんです。

「罪が支払う報酬は死です。...」 (ローマ 6 : 23a)

それが悪いニュースです。しかし、良い知らせは、

「しかし、神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」 (ローマ 6 : 23b)

贈り物は、与えられるものです。大変意義深いでしょう。しかし、誰かがその贈り物の支払いをしたんですよね？ イエスは、“永遠の命” という贈り物のために 全額を支払ってくださいました。私たちの永遠の命のために、ご自分の命を犠牲にして下さったんです。それが A です。次は B。

B : あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。ローマ 10:9-10 が言うように、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」 (ローマ 10 : 9)

そして、最後に C。

C : 主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。ローマ 10:9-10 も言うように、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」 (ローマ 10 : 9)

その理由です。

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」 (ローマ 10 : 10)

最後に、ローマ 10:13

「主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」 (ローマ 10 : 13)

救われるかもしれない、救われうるだろう、救われるべきだ、ではなく、“救われる” のです。シンプルに。シンプル過ぎるかもしれません。しかしそれが福音、良い知らせです。そしてこれが救われる方法です。皆さん、ご起立ください。最後に一つお話しして、祈りで終わります。そして、ライブ配信を終了します。これはおもにオンライン教会向けの情報です。先週、知らされたのですが、私の名前のアカウントから メールが送信されていて、一つはインスタグラムで、彼らはお金を要求しています。それは私ではありません。私は絶対にそういう事はしません。私たちはここでも献金の時間を取りません。壁に(献金)箱があるだけです。友達リクエストやダイレクトメッセージが来たら...いくつかの YouTube チャンネルで、 私たちが行っている預言アップデートを アップロードしているチャンネルがあります。

彼らはそれを行う許可を持っています。しかし彼らは、収益化し、宣伝し、収入を得ることは許可されていません。それが判断のリトマス試験になります。お金を要求された場合は、それが私たちではないことをご理解ください。私たちはできる限りの事をしています。すでに通知もしていますし、、、とにかく、それは絶対ないと 知っておいてください。また、地元の皆さんについては分かりませんが...皆さんだったら、朝の 2 時に電話してきますよね。「これ、あなたですか？」って。いいえ、それは私ではありません。祈りましょう。

お父様、ありがとうございます。いったい何が起きているのでしょうか。それは、まさにあなたが起こるだろうと 仰った事です。それが意味するのはただ一つ、私たちの贖いが、これまで以上に 近づ

いているという事です。主よ、この教会におられる方か、 またはオンラインで見ている方で、あなたに信頼を置いたことがなく、 あなたを呼び求めたことがなく、彼らの心で信じて、彼らの口で告白し、彼らの罪と、あなたが必要であることを認めたことがない方がいたら、彼らが今日、”永遠の命” のために、 人生で最も重要な決定をすることを祈ります。そして最後に主よ、早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7